

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 26 年 5 月 22 日 (2014.5.22)

【公開番号】特開 2011-223583 (P2011-223583A)
 【公開日】平成 23 年 11 月 4 日 (2011.11.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-044
 【出願番号】特願 2011-87421 (P2011-87421)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 13/02 (2006.01)

H 0 4 N 7/01 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 13/02

H 0 4 N 7/01 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 4 月 7 日 (2014.4.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

立体画像のペアのシーケンスのビデオ処理のための方法であって、各立体画像のペアは、同期された方法で取得される第 1 画像および第 2 画像を含み、動き補償された時間的な補間によって、少なくとも 2 つの第 2 画像から、少なくとも 1 つの第 3 画像を生成するステップを含む、前記方法。

【請求項 2】

前記少なくとも 2 つの第 2 画像から、前記第 3 画像の複数の画素の各画素について動きベクトルを推定するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

表示装置上に、前記第 1 画像および前記第 3 画像を表示するステップを含み、前記第 1 画像および前記第 3 画像は、それぞれシーケンシャルに表示される、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

動き補償された時間的な補間によって、少なくとも 2 つの第 1 画像から、少なくとも 1 つの第 4 画像を生成するステップを含む、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 5】

表示装置上に、前記第 3 画像および前記第 4 画像を表示するステップを含み、前記第 3 画像および前記第 4 画像は、それぞれシーケンシャルに表示される、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

第 3 画像は、時間的な観点から直に連続する 2 つの第 2 画像から生成され、第 1 の時間的な間隔は前記第 3 画像を前記第 3 画像に時間的に先行する前記第 2 画像から分け、第 2 の時間的な間隔は前記第 3 画像を前記第 3 画像に時間的に続く前記第 2 画像から分け、前記第 1 の時間的な間隔は厳密に前記第 2 の時間的な間隔より小さく、第 4 画像は、時間的な観点から直に連続する 2 つの第 1 画像から生成され、第 3 の時間的な間隔は前記第 4 画像を前記第 4 画像に時間的に先行する前記第 1 画像から分け、第 4 の時間的な間隔は前記第 4 画像を前記第 4 画像に時間的に続く前記第 1 画像から分け、前記第 4 の時間的な間隔

は厳密に前記第 3 の時間的な間隔より小さい、請求項 4 又は 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 の時間的な間隔と前記第 4 の時間的な間隔は等しく、前記第 2 の時間的な間隔と前記第 3 の時間的な間隔は等しい、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

複数の第 3 画像は、時間的な観点から直に連続する 2 つの第 2 画像から生成され、同じ複数の第 4 画像は、時間的な観点から直に連続する 2 つの第 1 画像から生成される、請求項 4 又は 5 に記載の方法。

【請求項 9】

前記複数を形成する前記第 3 画像は、時間的な観点から、前記 2 つの第 2 画像の間で、一様に分配され、前記複数を形成する前記第 4 画像は、前記第 3 画像と同じ方法で、前記 2 つの第 1 画像の間で、時間的に分配される、請求項 8 に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0048】

有利なことに、左と右の各ビデオシーケンスは、3 つの画像より多く含む。画像の数は、ビデオシーケンスの継続期間によって決まる（例えば、ビデオモードでは 50 または 60 ヘルツで取得される、つまり 1 秒あたり 50 または 60 画像、フィルムモードでは 24 ヘルツで取得される、つまり 1 秒あたり 24 画像）。

本発明は、以下の態様を含む。

[付記 1]

立体画像のペアのシーケンスのビデオ処理のための方法であって、各立体画像のペアは、同期された方法で取得される第 1 画像および第 2 画像を含み、動き補償された時間的な補間によって、少なくとも 2 つの第 2 画像から、少なくとも 1 つの第 3 画像を生成するステップを含む、前記方法。

[付記 2]

前記少なくとも 2 つの第 2 画像から、前記第 3 画像の複数の画素の各画素について動きベクトルを推定するステップを含む、付記 1 に記載の方法。

[付記 3]

表示装置上に、前記第 1 画像および前記第 3 画像を表示するステップを含み、前記第 1 画像および前記第 3 画像は、それぞれシーケンシャルに表示される、付記 1 又は 2 に記載の方法。

[付記 4]

動き補償された時間的な補間によって、少なくとも 2 つの第 1 画像から、少なくとも 1 つの第 4 画像を生成するステップを含む、付記 1 又は 2 に記載の方法。

[付記 5]

表示装置上に、前記第 3 画像および前記第 4 画像を表示するステップを含み、前記第 3 画像および前記第 4 画像は、それぞれシーケンシャルに表示される、付記 4 に記載の方法。

[付記 6]

第 3 画像は、時間的な観点から直に連続する 2 つの第 2 画像から生成され、第 1 の時間的な間隔は前記第 3 画像を前記第 3 画像に時間的に先行する前記第 2 画像から分け、第 2 の時間的な間隔は前記第 3 画像を前記第 3 画像に時間的に続く前記第 2 画像から分け、前記第 1 の時間的な間隔は厳密に前記第 2 の時間的な間隔より小さく、第 4 画像は、時間的な観点から直に連続する 2 つの第 1 画像から生成され、第 3 の時間的な間隔は前記第 4 画像を前記第 4 画像に時間的に先行する前記第 1 画像から分け、第 4 の時間的な間隔は前記第 4 画像を前記第 4 画像に時間的に続く前記第 1 画像から分け、前記第 4 の時間的な間隔

は厳密に前記第 3 の時間的な間隔より小さい、付記 4 又は 5 に記載の方法。

[付記 7]

前記第 1 の時間的な間隔と前記第 4 の時間的な間隔は等しく、前記第 2 の時間的な間隔と前記第 3 の時間的な間隔は等しい、付記 6 に記載の方法。

[付記 8]

複数の第 3 画像は、時間的な観点から直に連続する 2 つの第 2 画像から生成され、同じ複数の第 4 画像は、時間的な観点から直に連続する 2 つの第 1 画像から生成される、付記 4 又は 5 に記載の方法。

[付記 9]

前記複数を形成する前記第 3 画像は、時間的な観点から、前記 2 つの第 2 画像の間で、一様に分配され、前記複数を形成する前記第 4 画像は、前記第 3 画像と同じ方法で、前記 2 つの第 1 画像の間で、時間的に分配される、付記 8 に記載の方法。